

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後クラブ ルンバルンバ安養寺		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 21日		2026年 3月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	2026年 3月 16日		2026年 3月 18日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	○どの活動にもしっかりとねらいや目当てを持ち、職員間で共有し支援を行っている	<ul style="list-style-type: none"> ・日々のミーティング内で共有しスケジュールや職員の配置などを決めている ・先生たちからのアイデアを出し、PDCAサイクルに沿って支援内容を決めている。(失敗を次に活かす) 	職員研修内容の見直しと精査 個別支援計画におけるニーズの整理を見直し、本当に必要な支援はなにかを職員間で話し合いながら支援を行っている。

2	○子どもたちの集団行動の力がとても身についているところ	<ul style="list-style-type: none"> ・どの先生に対しても、適切な対応ができるように日頃の支援の中で、子どもとの信頼関係を築いている ・外出行事などを企画し、楽しい活動にも積極的に立案、実施を図り、メリハリを持てるように配慮している 	「集団の力」を強み、子どもたちの成長をお互いが感じていけるように、「関わり方」についてこれまで以上に研修などを通して学ぶ。（トライ&エラー）
3	○定期的に保護者との面談時間をつくり協力を得ながら支援に取り組んでいるところ	<ul style="list-style-type: none"> ・中間評価、年間評価として最低でも6カ月1度は、計画の見直し等で面談を実施できている ・活動の主旨、支援の共有を密に図り、保護者からの協力をいただける形で進めている。 	「火は小さなうちに」を合言葉に、面談だけに限らず日頃から些細な悩みや相談については確認を職員全体が取り組めるようにしていく。（両者がしっかりと同意を得ている状況をつくる）

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	○支援の質の向上	年間で職員研修スケジュールを組みながら、職員全体で定期的に支援にあたっての研修を行ってきた。その中で、より質の高い支援を目指す上での研修内容の精査が必要だと考える	研修内容を見直しや復習できる時間作りと、学べる場の提供。 これまでの外部での研修の幅を広げ、支援学校・就労施設さんでの体験・見学できる場を設けていく
2	○保護者等の交流会の実施	保護者同士での交流の場などは、実際に日時の調整や、希望者が少ないことから実施はできていない。しかし、積極的に支援現場の見学や子育てサポートを活用ができるように環境を整え案内も出している。	保護者さんからの希望などを取りながらにはなるが、随時検討はしていきたい。 また、就労施設さんとの連携を取りながら就労に向けての体験・相談のパイプができるような仕組みなどにできればとも考えている。

3	○地域の他の子どもたちと活動する機会	長期休みなどで、児童館を併用している利用者さんが複数人ほどいるが、全体で関わり持てる場はいまのところ検討していない。しかし、地域での消防署や就労支援施設さん、福祉施設さんとの連携を図り、そこで勤めているあるいは利用している方々と触れ合う機会は設けてはいる。	児童館さんとの日時の調整等を図りながら検討する これまで通り、地域間での施設さんとの連携を強化し、継続できるよう努める
---	--------------------	--	--